

いろいろえっち本
バーヴァンジーと



ADULT ONLY
R18
成人向け

バーヴァンジンズーと
いろいろいろいろえっちち本





※ATTENTION※

この漫画ではメスガキ的ムーブなバーヴァン・シーではなく、

絆15くらい甘々デレデレです…!

そして、セリフ上での彼女の呼称を「バーヴァンシー」という風に

「・」を抜いて表記します…!

これらを踏まえただけで見ただけであれば幸いです…!

なあ…
私としては

血が吸えるのは
願ったりなんだけどさ…

別に血を吸わないと
死ぬわけでもねーんだし

「定期的に」
じゃなくても良くない？

私が吸いたくなった時に
吸いたいんだけど？

「でもパーヴァンシーさ

前みたいに迷惑掛けないように
我慢して体調崩すかもしれない
でしょ？」

ベツ！
別にそんな風に考えてた
わけじゃねーし…！

そ、それにカルデアに
呼ばれた状態での勝手が
分かってなかっただけで…！

「それに…」

「さすがに、丸一日、
寝込まれたらマスター
心配ですよ…！」

あ…
分かった分かりましたッ！

ゴーンッ



「いやほんと
すいませんッ」



「『吸血行為の際に、魅了、等がある程度
レジストする薬を用意したから、飲んでお
いてねー』って言われて飲んだ薬が原因
かも...?」

「副作用もあるかもだから、メデイカルチエ
ック受けてね」とも言われたから...」

私が



つくりました♡



あー...クソザコだけど
「人類最後のマスター」様だもんな
過保護なこって...

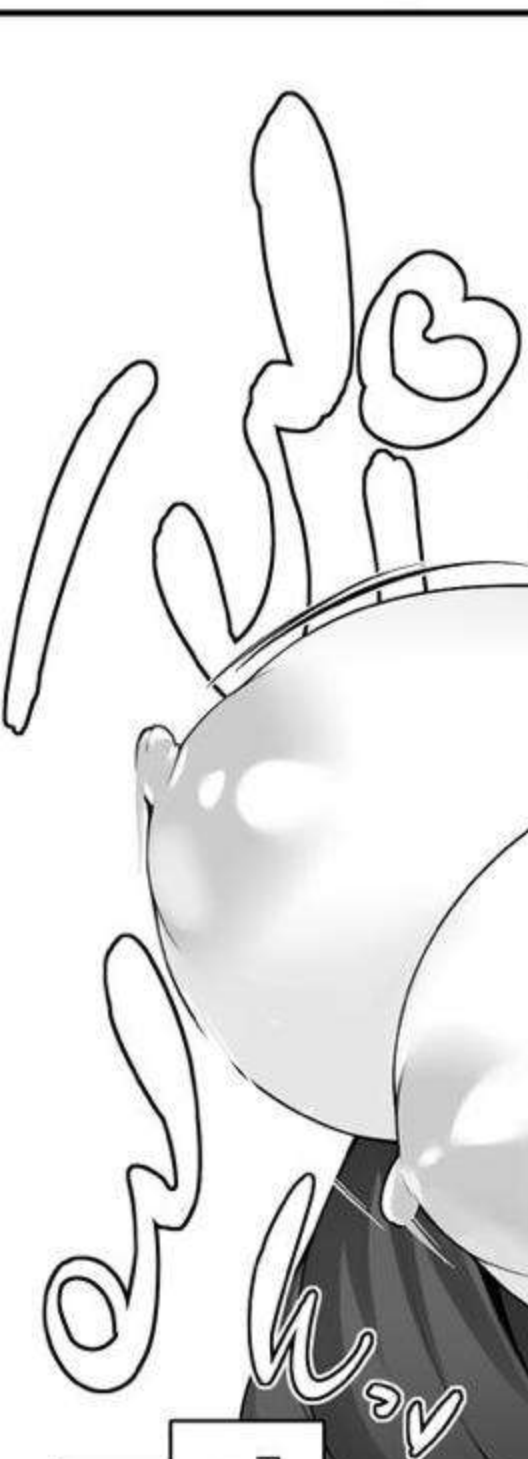


「まあ、メデイカルチェック
行く前にもヌいて
いこうかなーなんて

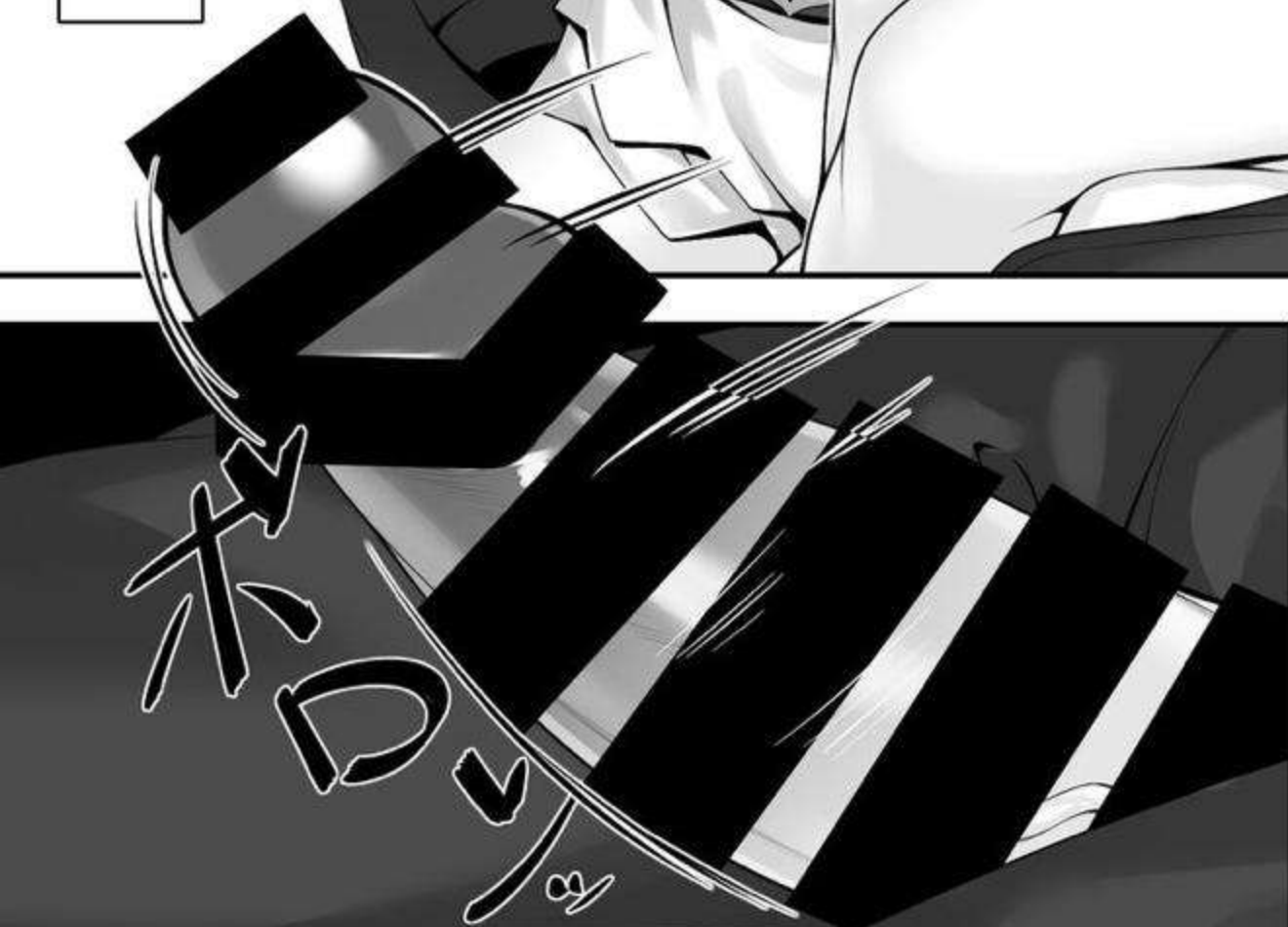
そ、それさあ……!

私がヌいたげよっか……?

「へっ!?!
い、いやシテ
いただけたら
嬉しいなーとは
思いますけど……」



「ウオデツツツ
ツツツカ……」
「じゃなくてツ」



太
太
太
太
太



「ちよッ
バーヴァンシーさんッ?」



「飲み込まれるッ」



「うお圧がすごい」

たふ

オィ

ほれ、いいから



オラッ…で、こっから
動かせばいいわけ？

うッが！

「ええ…自分からシテおいて…？」

「じゃ、じゃあそのままでも
良すぎるくらいなんだけど…」

む

に

ゆ



「うおッ
あったか...!」



「唾液で滑りを
良くしてもらえると」

ん...



「うおッ...!
ヤバ...ッ!」

ほ、ほらほらどーお?
って聞かなくても
分かり切ってるなあ?

なっさけねえツラして
鳴いているもんなあ♪

「ちゅふッ...い、いや
おっしやる通りですッ...!」

……いつの
結構デカいな

たっぽ

ほ

「あ、先っぽ啜えて
いただけると」

お前結構
余裕あんな…!?

「おおウツ
結構激しッ!」

「ッ……
あ……」

「めっちゃ気持ちいッ」

「精子ッ
昇ってきたッ……!」

「射精るッ」



「うあ…ッ
搾り取られる…！」

むにゅ
むにゅ
むにゅ

めんぽ
めんぽ
めんぽ

いゅ
いゅ
いゅ

「…」

ぽ
ぽ
ぽ

「あ…
めっちゃ出た…」

「ふう…あ、ありがと
パーヴァンシー…
スゲー気持ち良か
あのさ

「は、はい？」

「次ん時も、スる？」

「え、あつじや
じゃあ…
お願いします？」

次の定期吸血日…?

相変わらず…

フル

わお

ザコい割りに
は

ス

大層ッ
ご立派だよなあ♡

「ぬっふッ…
えへへ…どうせ」

いや別に褒めて
ねえんだわ…

ほらほら♡
余裕ぶっこいてるけど

ミこっちは無様に
ビクついてんぞ♡
オニオニ

「そッ、そりやそんな
ドスケベ靈衣で
足コキされればビク
つきもしますよッ」



はっ♡
わざわざ用意してやった
んだから感謝しろよ♡

「いや結構ノリノリ
で用意したよね♡」

うっせ

オラオラッ♡
もっとう鳴いて無様晒せ♡



イキそうなんだろう？
ほくらイケ♡イケ♡

「くあッ…
パーヴァンシッ…」



「イクッ…
射精るッ…！」

あはッ♡
出しすぎだろ♡
足孕ませる気かよ♡

「大変気持ち
良かったですッ」

「おーおーせいせい
感謝しろ♡」



そのまた次の
定期搾せ：吸血日

んだよこの服：
ほぼ裸じゃねーか

「と文句をたれつつも着てくれて
ホントにちよろ：優しいよねッ」
※頼み込んだら着てくれた

おい今「ちよろい」
って言ったろ

…で？

今日はどうヌいて
欲しいわけ？

「いやあ、実はこつちばかり
気持ちよくなってる悪いな
って思っておりましてねッ」

は？

「今回はパーヴァンシーにも
気持ちよくなってもらおう
かなって」

うわちよッ
ウザ、キモ
近寄んツ

た
ふい
ふい

ふい
ふい

む
あ

む
あ



「んちゅ…だいぶ濃い
匂いになってきたな」



「めぢやへぢや
ヒロス…」

「にしても凄
感じてて…」





「んぶッ」

くっッ！
おいッ！

「もっと
感じさせて…」

はあ…♡はあ…ッ♡
もういいだろ…♡

さっさとお前の唯一で
取り柄の、それ」

挿入ろよ

はあ
あ…

「ん？
それって？」

くっ…！
ああ…ッ！
その無駄にたくましい
ペニス挿入れろって
言っただッ…

あ
あ…

ま、
「及第点かなッ！
つと！」

「個人的には
おちんちんとか
の方がイイかなッ
なんてッ」

「にしても結構
濡らしたから…」

「くうッ…
すっごい
吸いつきッ」

「パーヴァンシーも
トロ顔キメてて
エロッッ…！」

「うおッ
ガッシリ
ホールドッ！」

「吸血だけじゃ
飽き足らず
吸精までッ…」



「どんだん絡み
ついてくるッ」

「ミ血を奪う吸血妖精ミって
言うよりッ……」

「ミ吸精妖精ミだろッ」



「膣内も
キュウキュウ
締まって……ッ」

「一滴も逃がさない
って感じだッ……」

「マスター……♡」

「ん？」



「チュ……♡」



「可愛いなッ
この吸精妖精ッ」



「クツツツツツツツ」



「ツツツツツツ」



「ツッ…
ああツッもうツッ
可愛いなあ
バーヴァンシート」

キヤ♡

マスターア…♡
もっとお…♡

あう♡
好き♡…♡

「ほらツッこれでもっと
奥まで届くでしょッ」



「ツッ…更に膣内^{ナカ}がうねって
気持ちいいッ…！」

は
い
あ

は
い
あ

は
い
あ

は
い
あ

「射^で精^でる^でツ
ツツ……！」

「くあッ……！
搾り取られる……ッ」

「ふー……
めっちゃ出した……！」

マスター……♡

「は、は……」

「あ、こりやスイッチ
入ってるヤツだ……」

「あッ！
じゃあさ……」

もっと……♡
シヨ―ゼ♡

うーわっ…♡

こんな服も用意してたとか
キモすぎるんですけど♡

「うるせえッ！」

「結局ノリノリで
着てんじやねえかッ！」

「すんごい膣内
絡んでくるッ」

「ほーらバヴァンシーの
膣内が
美味しい美味しい♡」

「って吸いついて
きこめるぞ」

う、う、う
ひゃい…♡



「あ……」
「……おっぱいの」



「もうッ
射精するッ……」



「おっ嬢しそう」

「バツ……」

「ふ、ふん……」

「……ッオラ
どうせまだ
あんだろ？」

「次はヒイヒイ鳴かせて
やっから次の服寄こ」

「やっぱ
ノリノリじゃん」

「うっせえッ
早よ寄こせ
っつてんだよッ！」



「はあ……ッ
興奮しすぎだろ
お前え……」

「そろもう
パーヴァンシーに
着てもらうために
用意したからねッ」



これまた趣味の
ワライ服♡

こんなん誰が
着るんだっつーの♡

「いやノリノリ
で着てるのが
目の前に
オラさっさと
ちんぽ出せ」

ふっ♡ふっ♡
ほらほらあ♡
さっきの
余裕は
どーしたよ♡

「ぐおツ...!!
悩殺バニーの
びよんびよん
ピストンツ...」

「激しいツ...!!
けどたまらんツ」

「流石ツ...説明せずとも
尻尾プラグも付けて
くれた淫乱バニー...!!」

あ、あんな
付ける場所そこ
しかねーだろツ...!!

(もしや弄ってたり
するのでは...)

「ツ...と、ともあれ
腸壁越しにプラグの
ゴツゴツで刺激されてツ...」



「射精るッ！」

はッ♡
こんだけ出したら
いくら
サーヴァントでもあ

孕んじまうんじゃねーか
ってくらいだなあ…♡

「流石にもう
出し切った…ッ」



「…な、なんか酔ってる？
魔力酔い…みたいな…？」

「は、はい
バーヴァンシーさん！
お服脱ぎ脱ぎ
しましょうねー！」



「あ、あれ？
バーヴァンシーさん？」

まんうッ♡あゝッ…♡
マスターのがあふれて
もったいねえー…♡

「いやあ〜…」

「すっごい淫れ
散らかしましたねえ」

チヤ...

カ

「パーヴァンシーさん」

うっせ黙れクズ

死ねゴミカス

消えろザコ

Gon Zou Bati

「罵詈雑言チエインツ」

「ていうか恥ずかし
がってるけど後半
ノリノリで腰落つて」

フェッチ・フェイル：
『痛幻の哭…』

「宝具はやめてッ」

「あ、ごめん
ダヴィンチちゃんからだ」

「はい、おやつへ
メイド・カルチエック〜」

まあ私もなんだかんだ
こいつに絆されてるし…

なあ♡

「は、はは〜」

好きよ
ザコマスター♡

それに

「こーゆーの」もワルか
ねーかな…なんて♡

「え、別にゆっぺんしてても
構わないよ」
「なにが問題されてるかな…」
「誤解しないけど」

「あ、うん
ザコはいらなかな」

はッ♡

事実なんだから
しゃーねーだろクーズ♡

「あーはいはい
これからメデイカル
チエツク行くから

つてちよわッ
ドサッ

ゆっくりしてて
いーんだろ♡

どうせ今行ったって後で行った
って変わんねーんだし♡

再戦すつぞ♡

さ♡

せ♡

い♡

ん♡

「ちよッ待つ

Pi

…ま
仲が良くてなにより

フッ

かな♪



～あとがき～

この度は「バーヴァン・シーといろいろえっち本」をお手に取っていただき、大変ありがとうございましたッ！

今回のバーヴァンシー本は、元々FANBOX用にカラー漫画を制作していたのですが、途中で「あッ、これ…本にしたい…！」って突発的に思って、本として制作するほうにシフトチェンジしました…！(FANBOXの方で待っていた方がいたら申し訳ないです…！)

おっばい、ブルンブルンッさせました。描いてて楽しかったです(ほっこり)想像以上に頭の中のバーヴァンシーが甘々デレデレ、ぐだ男と絡ませるとツッコミになったりと描いてて飽きないキャラ(になった)でした。

反省点として、「おっばいでっかく描きたい！」って思いが強すぎて、後々オノマトペやセリフを入れる事を考えずに作画してしまったので、画面がいっぱいおっばいになってしまった点がありますね…素直に反省です。

後は、まだまだ体位や画面構成、モノクロ色の塗り方やオノマトペの描き方や間の取り方等、いろいろ先達の方々のものを参考に自分なりに描いてはいるのですが、上手く描けているとは言い難いので、何はともあれ描き続けて精進あるのみって感じですッ…！

まーた長々文章打ってました、まあとにかくメリュ子本とは違った方面で、この本をお手に取ってくれた方々に刺されれば幸いですッ！

重ねて、この本をお手に取っていただきありがとうございましたッ！
またクオリティをアップさせてお会い出来たらなと思います！では！！

ちなみにBari・Zou・Gon(罵詈雑言)のコマンドマークは、「ゲームのモノをそのまま使うのはあかんからな…」って思って自作しました。



モチーフはアーチャー(主に弓)と、バーヴァンシー(第一再臨)の髪飾り、後はフェイルノートっぽくイメージして作ったりしてます。

—奥付—

誌名：バーヴァン・シーといろいろえっち本

発行日：2022年6月12日(サンシャインクリエイション2022Summer)

サークル：わとちっぷめろんぱん

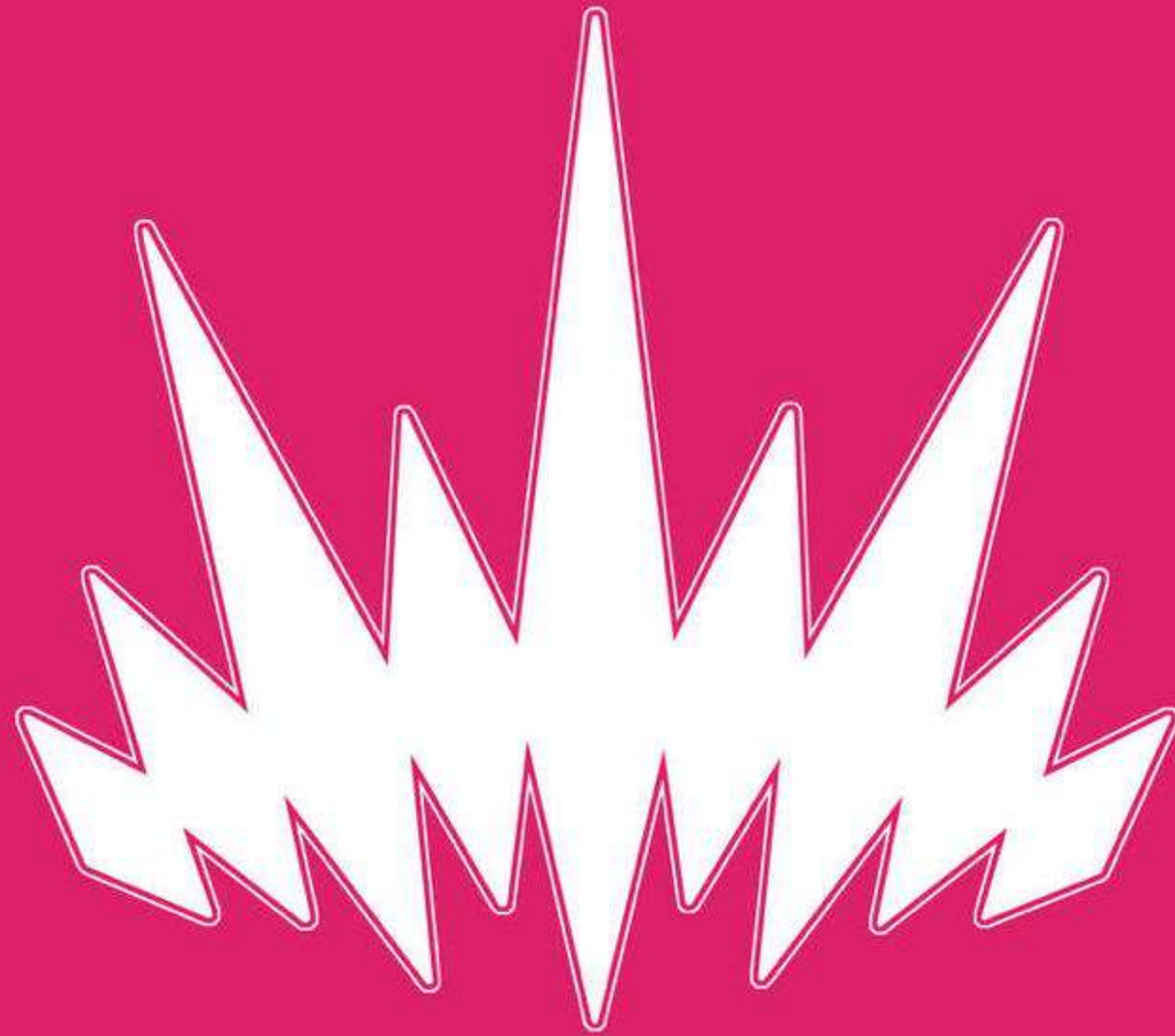
発行者：わとす

印刷会社：PICO(プリンティングイン株式会社)様
pixivFACTRY BOOKS 様

連絡先 E-mail：watosu.watosu@gmail.com

Pixiv ID：37774114

Twitter：watosu_mama



Fate / Grand Order FanBook